

幸せ実感フェスティバル

“あったか〜い幸せのカケラ、あなたにもおすそ分け！”

開催概要（案）

1 開催日時

平成28年3月26日（土）午後1時30分から3時30分まで

2 場所

市役所西庁舎3階研修室

3 参加者

- ・最大100人
- ・幸せマイスターの知人友人縁者ゆかりの者（マイスター）
- ・学生（まちづくり活動の裾野の広がり）（周知方法要検討）
- ・諸分野の活動に取り組む人たち（事務局は各課等の情報収集）
- ・一般市民、行政職員（広報、HP、庁内通知）

4 開催目的

- (1) 地域全体で「幸福度が高いまち」に向かっていくための取組の周知・理解を深める。
～幸せのモノサシづくり～実感調査隊から実感広め隊へ！～
- (2) 幸福度を高める地域活動に取り組む「幸せマイスター」を知ってもらい、彼らの活動の広がりに寄与する。
- (3) 地域の幸せについて考え、理解を深め、新たなマイスターの卵（あるいは触発を受けて活動に取り組む人）を発掘する。
- (4) 実感広め隊活動を広める（新メンバーの募集）

5 内容

- (1) 第1部 幸せのモノサシづくりって？実感広め隊って？・・・・・・・・・・15分
 - ・開会（経営管理課）
 - ・取組紹介（広め隊）
 - ・アドバイザー解説（草郷教授）
- (2) 第2部 幸せのカケラをいっぱい探そう！・・・・・・・・・・70分
 - ・トークセッション（地域問題研究所×幸せマイスター）
 - ・幸せマイスター紹介（広め隊）
 - ・グループトーク（幸せマイスター、広め隊、参加者）
 - ・参加者インタビュー、「Best of 幸せマイスター 2015」投票
（広め隊、参加者）
- (3) 第3部 地域で頑張っている人をみんなで祝おう！・・・・・・・・・・35分
 - ・「いいね賞」表彰（いいね賞受賞者、市長、政策秘書課）
 - ・「Best of 幸せマイスター 2015」発表（広め隊、幸せマイスター）
 - ・広め隊募集、アンケート（広め隊、参加者）
 - ・閉会（経営管理課）

6 進行（案）

12:00 会場準備	・受付準備、椅子・机配置、資料セット ・パワーポイント等確認 ・マイスターとの当日打合せ（12:30～） ・椅子は、当初から円形×5 グループ程度に配置しておき、当初は説明があるため、前向きにしておく。第2部のグループトークの際には各マイスターの方に向ける。 ・資料作成 プログラム（広め隊） 広め隊取組紹介（広め隊） アドバイザー資料（アドバイザー・事務局） マイスター紹介（広め隊） アンケート（事務局） 募集用紙（事務局）	■経営管理課、政策秘書課、広め隊（4名程度。残りのメンバーは12:30集合）、マイスター（12:30） ■マイク、パソコン等機器 ■資料 ・プログラム ・広め隊取組紹介 ・アドバイザー資料 ・マイスター紹介 ・アンケート ・募集用紙 ・その他PR物 ・メモ用紙 ■鉛筆、アンケート回収箱
13:00 開場	・受付	■経営管理課 ▲広め隊もサポートか？（3名）
13:30 開会（2分）	○開会 ・経営管理課（本日の趣旨説明）	■総合司会（2名）
13:32 第1部 取組説明（10分）	◎第1部 「幸せのモノサシづくりって？実感広め隊って？」 ○取組説明 ・幸せのモノサシづくりに取り組む背景 ・実感調査隊から実感広め隊活動への展開（実感アンケート結果から地域のつながりと幸せとの関係に着目し、地域の幸せ感の高まりに寄与する「幸せマイスター」探しに取り組む） ・メンバーの参加動機	■パワーポイントを使用し、広め隊から説明 ▲資料配布要否確認 ▲説明者、参加動機発表者確認 ■参加動機（3名）
13:42 補足説明（5分）	○(仮)社会進歩度数と幸せのモノサシづくりの関係 ・従来の経済発展中心の指標の限界 ・新たな価値観による社会進歩指標 ・上記の動向を踏まえた本市の取組の意義	■草郷アドバイザーから説明 ■予め録画して放映 ▲そうすると資料は別途配布か？
13:47 第2部 トークセッション（10分）	◎第2部 「幸せのかけらをいっぱい探そう！」 ○トークセッション ・参加者と幸せマイスターとのグループトークに先	■幸せマイスター1人×地域問題研究所、広め隊

	立ち、マイスター1人と地問研、広め隊でトーク（グループトークのイメージを持ってもらう） ・マイスター活動紹介 ・活動の動機や、どのような分野の幸せや生活実感を高めることに寄与しているか、あるいは取材で見つけた幸せのカケラを披露 ・広め隊は参加者の立場で質問する	■他の幸せマイスターと広め隊は各グループに配置（各2名×5グループ）
13:57 マイスター紹介 (10分)	○マイスター紹介（上記以外のマイスター） ・1人2分程度×5人で活動紹介 ・最初のトークは配置したグループ ・地問研は、2回ローテーションするため、今のマイスター以外で2人選んでおいてもらうよう、参加者に案内	■マイスター ■各グループに配置 ■椅子の方向を転換
14:07 グループトーク (43分)	○進行説明（3分） ・地問研は、トークセッションを踏まえて各グループの進行について説明する ○グループトーク1（12分） ・導入：マイスター×広め隊 →広め隊が、取材経験に基づいて、マイスターから活動の動機や活動のこぼれ話、大切にしている思いなどを引き出し、取材で見つけた“幸せのカケラ”を披露し、その思いを語ってもらう →参加者から質問を受ける。あるいは、共感できること、こんな幸せにもつながるのではないかなど、参加型のトークに展開していく →事務局は各グループの記録取り（特に発表はしない） ○移動1（2分） ・シャッフルタイム（参加者は興味のあるマイスターに移動） ○グループトーク2（12分） ○移動2（2分） ○グループトーク3（12分）	■マイスター（トーク） ■広め隊（トーク、各グループ2人程度） ■参加者（トーク） ■事務局（記録） ■地問研は、巡回してインタビュー先の目星を付けておく（2～3人） ▲時間的にタイトならローテーションは1回が良いか？
14:50 参加者インタビュー・投票（10分）	○参加者インタビュー ・感想や、どんな幸せのカケラを見つけたか、何かに取り組んでみたいかなど、1人2～3分程度で聞いていく ○「Best of 幸せマイスター 2015」投票 ・インタビューの間に、参加者は最も印象に残る幸せマイスターに投票する。該当するマイスターの	■地問研 ■参加者 ■投票用模造紙 ■ドットシール ■広め隊は、表彰式の間に投票結果を取りまとめ

	欄にドットシールを貼る	(広め隊も投票に参加し、1票も入らない人がいないよう配慮する) ■集計 (2名)
15:00 いいね賞 (20分)	◎第3部 ○「いいね賞表彰式」	■市長、政策秘書課
15:20 Best of マイスター (5分)	○「Best of 幸せマイスター 2015」発表 ・最も得票数が多いマイスターを発表 ・獲得した感想を聞き出す	■広め隊、マイスター ▲副賞を要検討 (お金がかからず、ユニークで喜ばれるもの)
15:25 募集・アンケート	○広め隊新メンバー募集 ・今出してもらっても良いし、後日でも OK ○参加者アンケート ・記入してもらってから退場 →今後につなげていくためにも、参加者には、開催結果、参加者アンケート結果は個別に送った方が良いのでは？	■広め隊 (1名) ■募集用紙 ■アンケート
15:30 閉会	○閉会 ・経営管理課 (参加のお礼)	■経営管理課
～16:00 片付け	・募集用紙、アンケート回収 ・片付け	■経営管理課、政策秘書課、広め隊

今後の作業

- ・当日プログラム作成
- ・マイスター紹介資料作成 (まりなさん)
- ・広め隊活動紹介資料作成「幸せのモノサシづくりって？実感広め隊って？」(あっくん)
- ・アンケート作成
- ・広め隊募集用紙
- ・投票用模造紙
- ・トークセッション時のシートなど (内容について要検討)